

取付説明書

DVA-5200

DVD VIDEO/VIDEO CD/CD PLAYER

68P21523Y15-O

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ご使用の前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

正しい取り付け

正しい操作で

安全運転

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。

禁止

ヒューズ交換は容量を守る

ヒューズ交換は、必ず規定容量（アンペア数）を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。

禁止

強制

配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行う

配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

警告

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らない

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対におやめください。コードの電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁止

取り付け・アース接続にはブレーキ類のボルト・ナットは使わない

ステアリングやブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは、取り付け・アース接続に絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

禁止

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

取り付け・配線は、専門家に依頼する

〈本機〉の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ず〈お買い上げの販売店〉に依頼してください。

警告

付属の部品を指定通りに使い、しっかりと取り付ける

必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、〈機器〉内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

禁止

正しい接続をする

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

禁止

小物類は幼児の手の届かないところに保管する

小物類〈ネジなど〉は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

警告

DC12Vマイナスアース車以外に使用しない

DC12Vマイナスアース車専用です（分からない場合は、ディーラーで確認してください）。守らないと火災などの原因になります。

強制

コード類は、運転操作の妨げとならないようにまとめる

コード類は取付説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

警告

運転のじゃまになるところには取り付けない

前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所（ステアリング・シフトレバー等）など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

禁止

通風孔や放熱板をふさがない

通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

水のかかるところ、湿気の多いところには取り付けない

水のかかるところ、湿気や埃の多いところへの取り付けは避けてください。〈本機〉に水や湿気・埃が混入しますと発煙や発火の原因となる場合があります。

禁止

コードを挟まないように引き回す

シートレールなどの可動部に配線を挟み込む、突起部に当たるなどしてコードを傷めないようにしてください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。

警告

アルパイン株式会社 〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

FAX：03-3494-1767 TEL：03-3779-0711

電話受付時間 9:30～17:00（平日の12:00～13:00と土日、祝祭日は除く）

FAXは、24時間受付けております。

電話は混雑が予想されます。問い合わせは、なるべく書面（FAXまたはハガキ等）をご利用ください

Designed by ALPINE Japan Printed in Japan (S)

1. はじめに

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げの店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

1 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

Ai-NETコード (5.5m)	Ai-NETコード (50cm)	PIN接続コード (映像信号用) (6m)	光ファイバー コード (5m)	電源コード (50cm)
×1	×1	×1	×1	×1
ブラケット	フローア・ベース	蝶ナット (M6)	マジック・テープ	ダブルワッシャー付ネジ (M5×8)
左右各1	×2	×4	×2	×4
スプリング ワッシャー (M6)	座付タッピング ネジ (M5×15)	六角ボルト (M6×50)	座付六角 ナット (M6)	リモコン受光 ユニット一式 (5.5m)
×4	×4	×4	×4	(両面テープ)
リモコン	電池 (単3)	サラネジ (M5×8)	バインドネジ (M5×8)	
×1	×2	×4	×4	

2 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキング・ブレーキをかけ、イグニッション・キー（エンジン・キー）を抜く。

2. 外す

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーの⊖端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーの⊖端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。

1 バッテリー⊖端子を外す。

3. 接続する ……接続するごとに ☐OK に✓点をつけてください。

注意

正しい接続をする
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

- 接続の際は、コードに付いているラベルや説明書を確認しながら、注意して行ってください。

1 裏面の接続図を参照して接続する。
(本機にAi-NET対応ヘッドユニット（別売）、テレビ（別売）などを接続する。

2 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻く。

3 正しく接続されているか確認する。
✓点 がもれているところはないか。

4 バッテリー⊖端子を接続し、イグニッション・キーをONにして動作を確認する。
本機の電源が入るか（イルミネーションが点灯するか）。

5 確認が終わったら電源を切る。

6 イグニッション・キーを抜いて、バッテリー⊖端子を外す。

4-1. リモコン受光ユニットの取り付け

Memo

- TVE-T007S等のリモコン受光部内蔵モニターを使用する場合は取り付けの必要はありません。
- 両面テープ貼り付けの際は、貼り付け面の光沢剤、ゴミ、ホコリなどをよく拭取ってください。

1 リモコン受光ユニットの裏面に両面テープを貼り付ける。

2 両面テープの裏紙をはがし車内の適当な所（ダッシュボード等のリモコンが作動する範囲内）に貼り付ける。

リモコン受光ユニット

4-2. 取り付ける ●水平～+30°以内でお使いください。 30°

注意

通風孔や放熱板をふさがない
通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

通風孔

<製品裏側>

Memo

本機はシート下のエアコン吹き出し口近くなど、高温となる場所を避けて取り付けてください。「ディスクが読めない」または、「故障の原因」となる場合があります。

● リアトレイにつり下げする場合

1 本機にブラケット①を取り付ける。
本機両側面にダブルワッシャー付ネジ（M5×8）②で取り付けます。

2 リアトレイに固定する。
六角ボルト（M6 x 50）③、座付六角ナット（M6）⑤とスプリング・ワッシャー（M6）④、蝶ナット（M6）⑥でしっかり固定します。

● 直接床に取り付ける場合

1 本機にブラケット①を取り付ける。
本機両側面にダブルワッシャー付ネジ（M5×8）②で取り付けます。

2 床に取り付ける。
座付タッピング・ネジ（M5×15）⑦とスプリング・ワッシャー（M6）④で床に取り付けます。

警告

穴をあけるときは、パイプ・配線類を傷つけない。

Memo

- 車両雑音から守るために
 - ・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
 - ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

● カーペットに取り付ける場合

1

本機にブラケット①を取り付ける。
本機両側面にダブルワッシャー付ネジ（M5×8）②で取り付けます。

2

カーペットの下に本機を設置する位置を決める。

3

カーペットにカッターで十字に切り込みを入れ、フローア・ベース⑧を下から差し込む。

4

スプリング・ワッシャー（M6）④と蝶ナット（M6）⑥でカーペット上に
取り付けれる。

● マジック・テープで取り付けの場合

1

マジック・テープを貼る。
DVDプレーヤーにマジック・テープのざらざらしたほう2枚を貼ります。

2

取り付け位置にマジック・テープを貼る。
マジック・テープのやわらかいほう2枚を取り付け位置に貼り、本機を取り付けます。

● インパネに取り付ける

Memo

水平に対して30度以内に
取り付けてください。

30度以内

1

本機に車両からはずした
取付ブラケットを
しっかり取り付ける。

2

「ブラケットと一体になった本機」を
車両に
しっかり取り付ける。

3

インパネを取り付ける。

4

コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定してください。

5

バッテリー端子を接続する。

5. 確認する

1

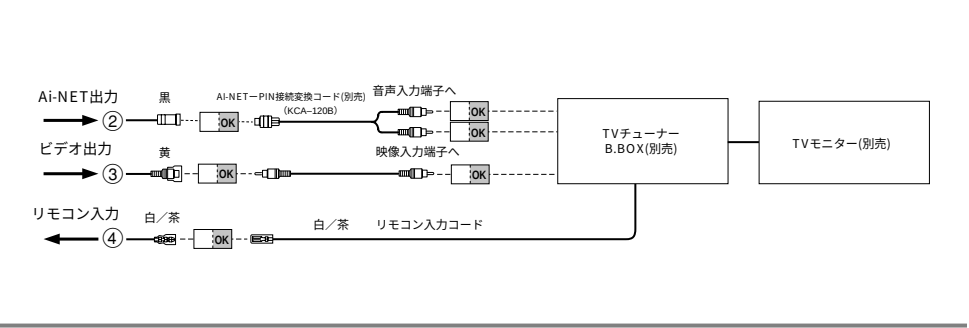
イグニッション・キーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

2

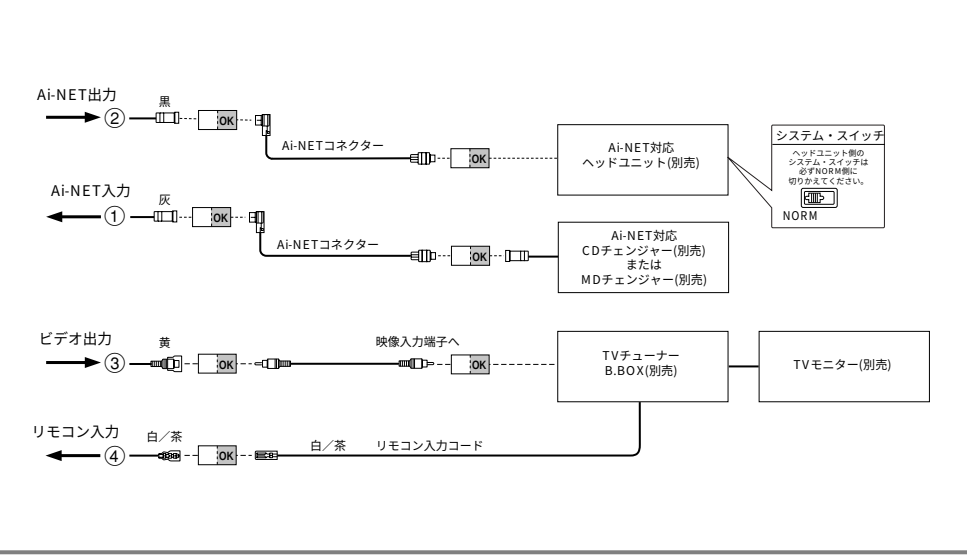
ホーン（クラクション）、ストップ・ランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

6. システムアップの例

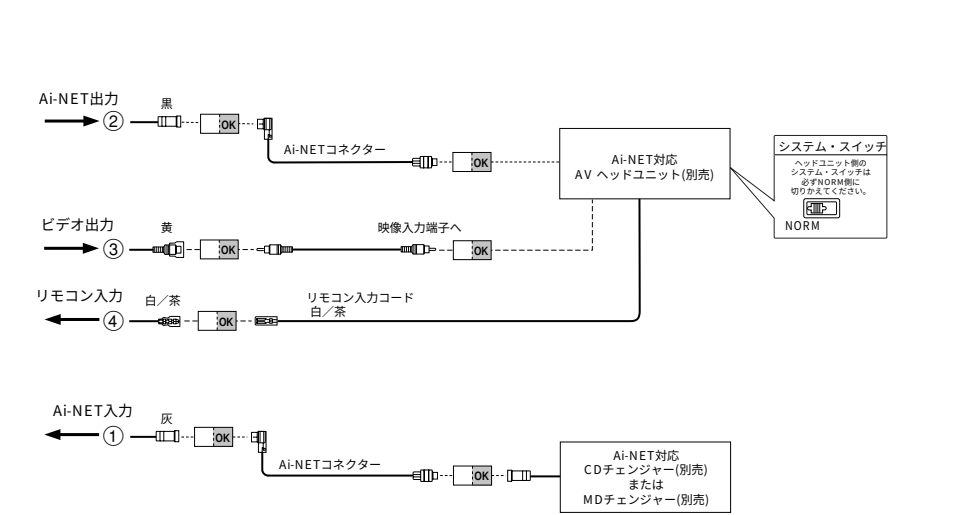
●TVモニターを接続する。（Ai-NET非対応ヘッドユニット使用の場合）



●Ai-NET対応ヘッドユニット／TVモニターを接続する。



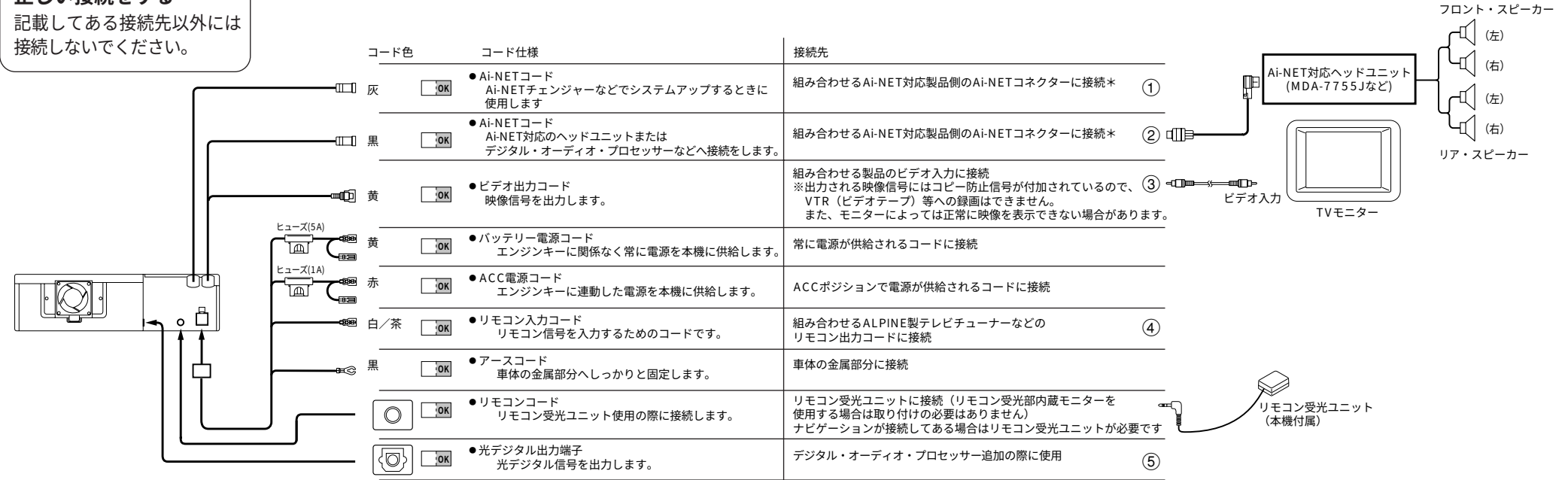
●Ai-NET対応AVヘッドユニットを接続する。



接続図

⚠注意

正しい接続をする
記載してある接続先以外には
接続しないでください。



*接続する製品によって使用するAi-NETコードが変わります。

	Ai-NETコード (黒)	Ai-NETコード (灰)
デジタル・オーディオ・ プロセッサーを 接続しない場合	ヘッドユニット またはAVヘッド ユニットへ	CDチェンジャー** または MDチェンジャーへ
デジタル・オーディオ・ プロセッサーを 接続する場合	デジタル・ オーディオ・ プロセッサーへ	ヘッドユニット または AVヘッドユニットへ

** CDチェンジャーまたはMDチェンジャーはヘッドユニットを接続しないと使用できません。詳しくは「6. システムアップの例」を参照願います。

Memo

組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

⚠注意

ヘッドユニット側のシステム・スイッチの切りかえは必ず、電源をONする前に行ってください。